

日本のロータリークラブは…

我が国最初のロータリークラブは、1920年(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟が承認されました。いま現在、北海道から沖縄までクラブ数は2,192、会員数83,251人となっています。(2024年12月末現在)東京都北部と沖縄県の73クラブで構成される第2580地区は現在約3千人の会員がいます。

第2580地区 名護ロータリークラブについて

創 立 1974年(昭和49年)6月26日

RI 認証 1974年(昭和49年)8月5日

スポンサークラブ：那覇ロータリークラブ

ロータリー年度：上半期 7月～12月

下半期 1月～6月

例 会 日 時 毎週 水曜日/12:30～13:30

最終 水曜日/19:00～20:00

例 会 場 ホテルゆがふいんおきなわ 3階

例会内容 食事しながら情報交換・各委員会報告
卓話・会員同士の親睦など

会 員 数 名誉会員1名 正会員35名

諸 会 費 入会金 なし

会費 100,000円(半期)

他 移動例会など会費徴収あり

例 会

ロータリーの活動の原点は例会出席にあります。そのため、各委員会の協力のもと楽しんで参加頂けるよう企画・計画を行っています。また毎回卓話の時間を設け、ロータリアンとして日々研鑽を積めるようそれぞれ専門分野の立場からお話しを頂いております。ぜひ入会されてロータリー活動を共に楽しみましょう。



親 睦

親睦ゴルフコンペをはじめ、季節の催しなど様々な親睦活動があります。年度の終わりには会長幹事を中心に親睦旅行を計画し、会員同士の繋がりをより深める機会となっています。



奉 仕 活 動

ロータリーには五大奉仕活動があります。クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕を行っております。様々な意義のある奉仕活動にクラブの仲間となり関わってみませんか？



クラブバナーは、緑豊かなやんばるの野山を彩る緋寒桜をモチーフに、沖縄本島北部全域をカバーする当クラブの所在地を地図上に表しています。

四つのテストは、生活や仕事の場面におけるロータリアンの高潔性と高い倫理基準を要求する力強い指針となっています。



ロータリーとは何か？

ロータリーは地域社会のボランティアから成る世界的ネットワークです。ロータリークラブの会員は、地元地域で活躍している事業・専門職あるいは地域のリーダーで、社会奉仕活動を計画・実践しながら、ほかの専門職業人をネットワークづくりも行っています。また、国際的な人道奉仕に携わることもできます。今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数約3万6千、会員総数約117万人(2025年5月公式発表)に達しています。

ロータリーは、国際留学のための奨学金、交換プログラム・人道的補助金を通じて世界理解を築いています。世界中のロータリークラブは、人々の生活の質を向上させることを目的とした教育、文化交流、人道分野の活動に幅広く参加しています。

会員であることの恩恵

ロータリークラブの会員には、地元だけでなく世界中の地域社会に貢献できる機会があります。入会の理由は、地域社会への奉仕する機会、自己啓発、仕事に関連したネットワークづくり、同胞との親睦などさまざまです。しかし、会員にとって何より大きな恩恵は、社会に確かな違いをもたらすことが出来るという達成感です。

◆ 会員を随時募集しております ◆

私たちは地域社会から国際社会に奉仕活動を通じて、多くの方々の人生が豊かになるよう仲間と共に活動しています。

あなたも一緒に仲間となり、ロータリアンとして歩み始めませんか？例会はいつでも見学可能です。どうぞお気軽にお問い合わせください。



名護ロータリークラブ

〒905-0011 名護市字宮里 453-1

ホテルゆがふいんおきなわ 3F

TEL 0980-53-4568

e-mail office@nago-rotary.org

URL <http://www.nago-rotary.org/>

会員増強維持委員会

-2024-25 年度 初版-



名護ロータリークラブ

入会のお誘い

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において日々、奉仕の理念を実践すること

第4 奉仕理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること